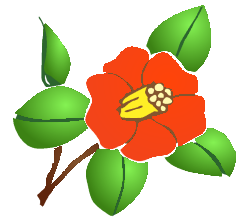




栃木市立吹上小学校 学校だより

いとひば



発行日：平成31年2月号

発行者：栃木市立吹上小学校長 宗方 順子



節分 ～春に向かって～



2月3日は節分です。

節分とは本来、「季節の変わり目」という意味で、1年に4回、立春、立夏、立秋、立冬の前日に節分があるわけですが、現在は冬から春への節分だけが残っています。冬の厳しい寒さで閉じ込もっていた生活から、全てが活動し始める春に変わることを待ち望んでいることが分かります。節分に行われる豆まきの行事は、1年の無病息災を願う事から始まったと言われますが、「鬼は外」という言葉で、心の中の鬼を退治し、新しい出発をするという意味もあると思います。新しく迎える春に向かって、子どもたちが元気に2月をスタートできるよう支援して参ります。

ー 児童の体調管理について ー

全国でインフルエンザが猛威を振るっており、栃木市内の小中学校でも学級・学年閉鎖が増えています。本校は、数名の欠席は見られましたが、1月は通常の学校生活を送ることができました。インフルエンザが拡大しないよう、学校では、うがい・手洗いの励行、マスク着用、休み時間ごとの教室換気を実施しています。

ご家庭でも、お子様の体調管理をよろしくお願いいたします。

【車椅子の贈呈】

1月10日

本校で実施しているアルミ缶回収の収益金で車椅子を購入し、特別養護老人ホームうづま荘に贈呈しました。うづま荘には、毎年5年生が「高齢者とともに」という学習で訪問し、お世



【施設長さんに車椅子の贈呈】

話になっています。

当日は、ボランティア委員会の児童が代表して訪問し、車椅子の贈呈と日頃の感謝の気持ちを伝えることができました。

【リサイクル品回収】 1月21日

保護者の皆様には、早朝からリサイクル品回収にご協力いただき、ありがとうございました。幸い、風のない穏やかな日で順調に作業が進み、8時に開始した作業は、10時頃には終了することができました。



今年の収益金は下記のとおりです。収益金は、本校児童の教育の充実のために使わせていただきます。ご協力ありがとうございました。

◎収益金総額 572,730円

《内訳》紙類 520,290円

アルミ缶 45,000円

瓶類 7,440円

【学校給食週間】 1月21日～25日

国は、毎年1月24日から30日までの1週間を「全国学校給食週間」としています。学校給食は、明治22年山形県の私立小学校で貧困児童を対象に実施されたのが始まりだと言われています。そして戦後の昭和21年以降は、学校給食が教育活動の一環として位置付けられ、成長期にある児童生徒の健康の増進を目的として全国に広がりました。

本校の給食週間では、給食に関する作文や標語、ポスターの作成や、調理員さんに感謝する集会を開くことで、児童の給食への関心を高めることができました。



【調理員さんへのプレゼント】

《 学校評価結果から 》

保護者の皆様にご協力いただきました、学校評価の結果がまとまりました。詳細は、吹上小ホームページに掲載いたしましたので、ご覧ください。ここでは、概要を紹介いたします。

1 肯定的回答(よく当てはまる・当てはまる)が、児童・保護者共に90%以上だった項目

- 思いやりの心をもって生活している。
- 教師は、児童相互のトラブルや悩みなどに誠意をもって対応している。
- 学校は、分かる授業を工夫し、学力の向上を図っている。
- 地域の教育力を活用して、ふるさとを愛する心を育てている。
- 交通ルールを守って安全に登下校している。
- 災害を知り、自分たちの身を守るためにできることを考え行動している。
- 学校は、農園を活用して食育を推進している。

2 児童と保護者と教職員の認識差が大きかった項目

- 清掃や係の仕事を進んでやっている。(児97%、保63%、教92%)
- 家庭学習の習慣が身に付いている。(児89%、保66%、教85%)
- 児童は、読書に親しんでいる。(児85%、保64%、教84%)
- 児童は、進んで運動し、体力づくりをしている。(児90%、保69%、教100%)
- 児童は、学校や地域であいさつをしている。(児94%、保78%、教42%)

3 保護者のご意見・ご要望について

- 登下校の安全については既に児童に指導しましたが、今後も登下校の様子を見て随時指導をしていきます。
- 通学路に関するご要望(街灯・歩道等)については、学校だけでは対応できないものもありますので、地域の方や関係機関のご意見を聞きながら検討して参ります。
- 保護者送迎の際の駐車場で危険性については、職員会議で協議し対応策を検討いたしました。別プリントにてお知らせいたしますのでご覧ください。
- その他のご意見についても、全職員で共通理解を図り、課題と思われることには改善策を講じて取り組んで参ります。

※ 保護者の皆様には、お忙しい中、学校評価のご協力ありがとうございました。
評価の結果は、次年度の学校経営に生かして参ります。

「小さな親切」実践報告会 1月26日(土) 於：栃木市立東中学校

栃木市の「小さな親切」実践報告会に、本校児童を代表して、6年生の4名が参加しました。本校の取組として、あいさつ運動、なかよし班の活動、ボランティア委員会の活動(アルミ缶回収、災害支援募金等)、地域の方とのふれあい(運動会、昔遊び、町探検等)、児童生徒交流等の事例を写真や動画を交えて、分かりやすく発表しました。

次の文章は、本校発表の終わりの言葉です。

『私達にはいつも、一番に自分の事を心配して育ててくれる家族がいて、大きな笑顔とあいさつで迎えてくれる学校があります。そして、周りを見回すと温かく見守ってくれる地域の方々があります。多くの人に支えられていることを忘れず、多くのことを学び、人として成長していけるよう努力していきたいです。』

立派に発表を終えた4名は、参加した皆さんから大きな拍手をいただきました。今回の報告会の参加は、本校の実践内容を多くの方に知っていただくことができただけでなく、小さな親切の積み重ねの大切さに改めて気付く良い機会となりました。

